

1. これまでの実施概要

第1回

令和6年8月26日（月）
09:50～11:55

第2回

令和6年11月25日（月）
09:30～11:30

第3回

令和7年3月17日（月）
10:00～12:00

第4回

令和7年5月19日（月）
10:00～11:40

報告：

- ①今後の進め方について

議題：

- ①これからの公共施設が目指すビジョンについて
- ②エリア別の公共施設マネジメント方針について

第5回

令和7年7月16日（水）
10:00～12:02

埼玉県志木市立志木小学校・いろは遊学館・いろは遊学図書館視察

第6回

令和7年9月1日（月）
09:30～11:30

報告：

- ①今後の進め方について
- ②視察報告書について

議題：

- ①これからの公共施設が目指すビジョンについて
- ②エリア別の公共施設再編方針について
- ③学校施設の活用について

第7回

令和7年11月25日（火）
09:30～11:30

報告：

- ①職員検討会の結果について

議題：

- ①小金井市公共施設の在り方・再編方針（素案）について

2. これまでの検討経緯（各回の主な意見）

第1回～第2回

公共施設のこれからの在り方

【共通】

- 将来的な無人管理も見据え、エネルギー等の遠隔や自動管理、DXによる全体最適化も検討できるといい
- 自由に使える施設であっても、想定される使われ方を示すなど、ある程度の規律は必要
- 自由に使えるだけでなく、転用できる視点も必要
- 多様な人が使う施設であることも認識しておくべき
- 複合化により創出される余剰公有地に対しても資産として捉えるべき
- 機能・サービスに応じて受益者負担とすることもあってよいのではないか

【学校施設】

- 地域が利用できる諸室や学童保育所の確保等を検討されており、今後は、学校の建替時に様々な施設との複合化は考えられるだろう
- 優先度をつけて対応するべき学校施設は早急な対応が必要
- 学校施設の複合化を検討する際には、子どもが参加できる検討プロセスをとってほしい
- R10年度まで児童・生徒数の増加が見込まれている中で、別施設との複合化は考えにくい。夜間の教室利用や音楽室等の開放、プールの共同利用などの方法がとれるとよい

【子育て支援施設】

- 教育相談、不登校児の学びの場はとても重要。フリースクールも含めて行政が支えていくべきことは議論を深めていくべき

【図書館】

- 駅前などの図書の受取ポストの設置や、受取ポストでの本の紹介・感想返信機能が導入できるといい

第3回～第4回

これからの公共施設が目指すビジョン

【共通】

- ハコの作り方と使われ方、運営のあり方を区分したほうがよい
- 宮地楽器ホール周辺のような空間ができるといい
- 全体の最大公約数的な視点と、施設ごとの具体性を両立させた議論が必要

【学校施設】

- 学校施設が全てのビジョンを包含するものでもないと感じる

【交流・つながりの場】

- つながらない自由も重要
- 交流をソフトの仕掛け、つながりによるメリットを示すことが必要

【目的によらない自由に利用できる場】

- フレキシブルの考え方を議論するべき
- 学校や図書館は核となる機能が重要、その上で他の利用が許容されるとよい
- 公民館と集会所など利用法が類似する施設は一体的に運用されるべき

施設配置方針（エリアの捉え方）

- 中学校区をエリア単位として考えるのはよいが、中学校をコア施設とするのは疑問。また、緑中学校、東中学校エリアでは駅周辺の拠点とあわせて考えてよいのでは
- 中学校区ごとに施設を集約することで財政健全化が達成できるかを示してほしい
- エリアでの公共施設再編と交流・創造拠点の役割の違いは丁寧に示すべき
- 交流・創造の拠点の担う機能、エリア設定の考え方を示すべき
- 公共交通を利用した際のアクセスなどについても説明があるといい

【集約・複合化のイメージ】

- 集約・複合化の受入先として、保健センターや本庁舎の跡地などの在り方も考えるべき
- 児童・生徒が増え教室不足の中、学校施設への機能集約を優先的に考えてよいか

第6回

これからの公共施設が目指すビジョン

【共通】

- 具体施設を想定したビジョンの表現となるとよい
- サービス提供側にとってのイメージもあるとよい
- ビジョンを具体化する方策を慎重に整理するべき
- 学校施設の活用を見据えると自由に利用できる場等の表現は調整が必要

【公民の役割分担】

- 市民サービスに対する市の責任範囲を示した方がよい
- 官民連携がビジョン全体にかかるのであればリード文で整理してもよい
- これからも必ず残る行政が関わるべき部分は維持し、その他の機能をフレキシブルにしていくことがわかるといい

施設配置方針（エリアの捉え方）

【交流・創造の拠点】

- 新庁舎・（仮称）新福祉社会館に関しては、不調となった現状も踏まえた表現とするべき
- 新築・更新を基本とした表現とするのは避けるべき
- ビジョンの実現化手法は次のステップで検討するべき

【エリア名称】

- 中学校区は併記したほうがよい
- 都市計画MPの表現や防災の考え方と整合が取れているといい
- 中学校区を基本としている学校に限らずエリア内の各施設を対象に再編を考えいくことを明記した方がよい

学校施設の活用

- 教職員にとって良くならないと複合化の意義がない
- 学校施設長寿命化計画を踏まえ、地域連携の促進等を受け、条件が合えば複合化を検討していく方針を整理してほしい
- タイミングや状況を分析し、複合化の組合せを各エリアで今後考えていく方針を示すことが役割

第7回

在り方・再編方針（素案）

【共通】

- ビジョンをどのように実践していくかが重要
- 現状・課題からのビジョンの流れが分かりにくい
- 課題認識をもう少し打ち出したほうがよい、市民ワークショップや検討委員会で出された課題も示されるといい
- 将来人口推計、児童数・生徒数等のデータは最新にするべき

【これからの公共施設が目指すビジョン】

- イメージに関してはイラストが入るといい
- 学校の複合化につながるイメージの記載があるといい
- 学校を特出しするのであればビジョンでも触れるべき

【エリア別の再編の基本構成】

- 各エリアにおいてどのように必要な機能を確保するか整理が必要
- 新庁舎・（仮称）新福祉社会館はサービス提供でなく中枢機能を担うのではないか
- 新庁舎・（仮称）新福祉社会館の今後の方向性が変更となつた場合、内容を調整する必要があるのではないか

【学校施設について】

- コミュニティ・スクールによる地域とともに学校づくりは既に行っていることが分かるようにしてほしい
- 「効果的・効率的な施設整備」の表現は工夫できるといい
- 全学校で複合化を行うのではなく、メニューの1つとして複合化があることが分かるように整理するべき
- 文部科学省が示すオープン化のレベルまでとしてほしい
- 学校にとってマイナスとなる方向で集約・複合化を考えているわけないと分かるように整理するべき

- 他の施設も併記し、その中で最大の割合を占める学校についてまずは問題提起するべきという流れはどうか
- 教職員と一緒に在り方を考えていく視点もあるといい

【検討の進め方】

- 市場動向を踏まえたコスト面での実現性の検討も行うべき
- 実施スケジュールが示されるといい
- 官民連携や市民・関係者との連携は表現を具体的にできるといい